

日南市公共施設等総合管理計画

(個別施設計画)

その他建築物編

令和2年3月

商工・マーケティング課

1. 対象施設

平成29年度末現在、商工・マーケティング課が所管するその他建築物は1施設で、延床面積は1,151.33㎡となっております。

No.	施設名	所在地	総床面積 (㎡)	棟数
1	日南高等職業訓練校	日南市大字益安888	1,151.33	4

2. 計画期間

令和2年（2020年）度から令和8年（2026年）度までの7年間とし、進捗状況の結果等を踏まえて、適宜、計画を見直すものとします。

3. 対策の優先順位の考え方

(1) 施設の役割

日南高等職業訓練校は、求職者や在職者が、職業教育や技能の習得などの就職支援を行うために設置された施設です。知識等を身につけるための教室と技能実習のための実習室が設置されています。

(2) 現状と課題

日南高等職業訓練校は、平成12年に建築され、職業訓練法人 日南職業訓練会に無償貸与しています。

同訓練校では、建築や洋裁などの県の認定訓練や、パソコンや簿記、介護などの自主的な訓練、また県からの委託訓練を実施しており、毎年様々な訓練生に利用されています。

しかし、県の認定訓練や自主訓練のコースの訓練生の減少により収益が減少し、事業拡大ができない状況であり、今後の運営に不安が残る状況であります。

(3) 今後の施設の考え方

日南高等職業訓練校は、求職者の知識・技能習得の場として設置され、就職の支援施設として利用されてきましたが、訓練校のニーズや他の民間職業訓練施設も県内にあることから、今後の必要性を考慮しながら、他の用途への利用や譲渡を含めた検討を今後行っていきます。

4. 施設の状況等

(1) 施設性能

No.	施設名	建築年度	経過年数	構造	耐用年数	残寿命年数 (年)	耐震		大規模改修	
							診断	改修	年度	改修
1	日南高等職業訓練校	H11年度	18	S	34	16	新	新		

(注1)平成29年度末現在の状況について記載

(注2)複数の建物からなる施設については、主たる建物について記載

※構造:W=木造、RC=鉄筋コンクリート、SRC=鉄筋鉄骨コンクリート、S=鉄骨、LGS=軽量鉄骨、CB=コンクリートブロック

※残寿命年数:耐用年数-経過年数〔基準年度-建築年度〕

※耐震診断:新=新耐震基準(建築年がS57年以降)、済=旧耐震基準(建築年がS56年以前)であるが耐震診断実施済み、

未=旧耐震基準で耐震診断が未実施、不=旧耐震基準であるが新耐震基準で建てられているため、耐震診断不要

※耐震改修:新=新耐震基準、済=耐震改修が実施済み、未=耐震診断未実施又は耐震改修が必要だが未実施

不=旧耐震基準であるが耐震改修が不要

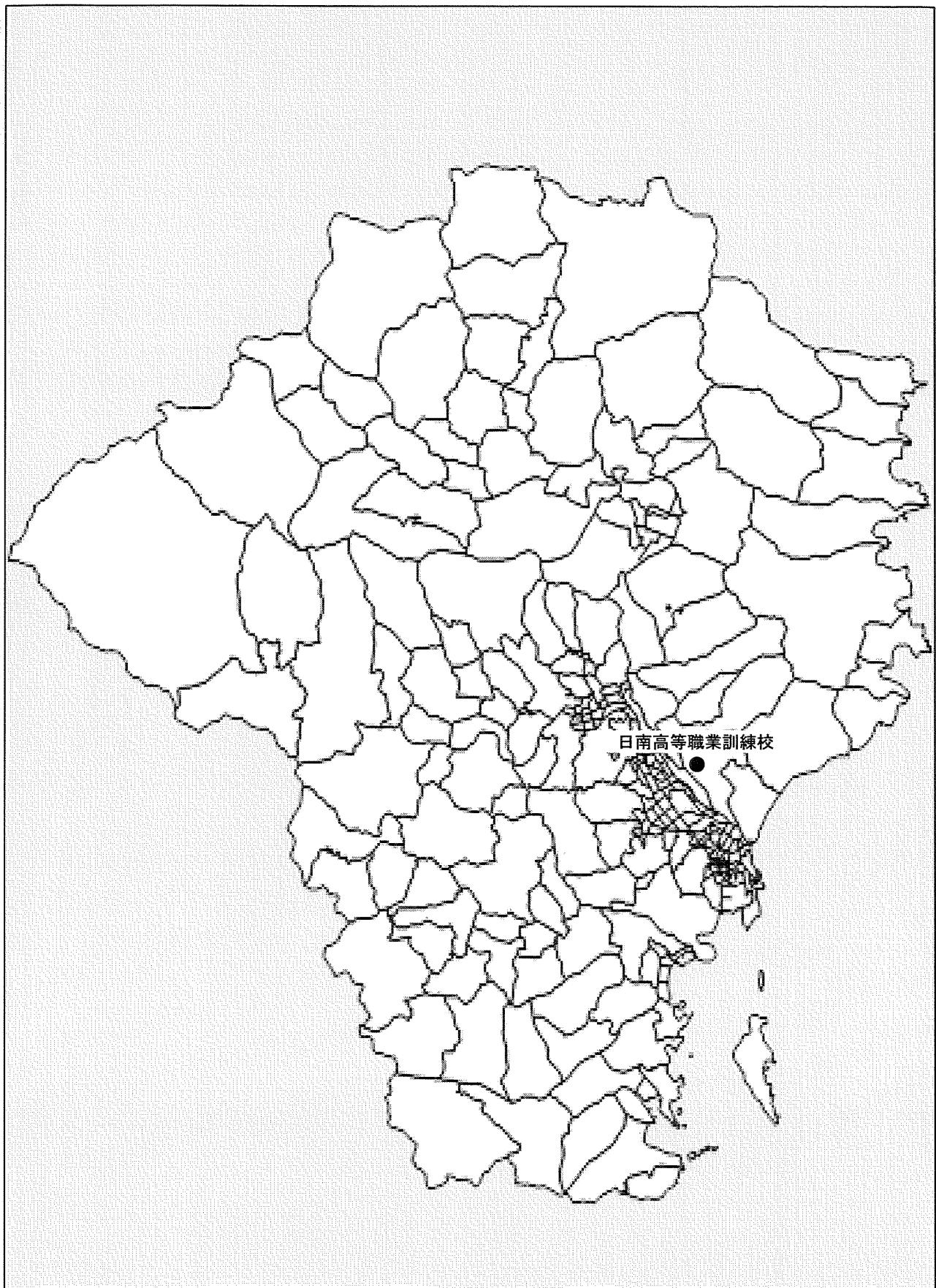
※大規模改修:屋=屋根改修、屋上防水改修、壁=外壁改修、他=設備改修、内装その他改修

(2) 利用・運営状況

No.	施設名	総床面積 (㎡)	稼働日数 (日)	利用者数 (人)	年間コスト (円)	㎡当たりコスト (円)	利用者1人当たり コスト(円)
1	日南高等職業訓練校	1,151.33	257	159	365,000	317	2,296

(注)稼働日数、利用者数、年間コストは、過去3年間(H27~29年度)の平均を記載

5. 施設配置状況



6. 適正化計画

現状や課題、今後の考え方を踏まえ検討した適正化計画は次のとおりです。

(1) 今後の方針

No.	施設名	方針
1	日南高等職業訓練校	法人に賃貸借契約にて使用貸借し、維持管理運営に努めており、今後も継続して使用していきます。

(2) 計画期間内(7年)の対策内容及び対策費用

(単位：百万円)

No.	施設名	棟名称	項目	計画期間						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1	日南高等職業訓練校	教室	対策内容							
			対策費用							
		実習室	対策内容							
			対策費用							
		廊下	対策内容							
			対策費用							
		駐輪場	対策内容							
			対策費用							